

■【トピックス】  
ターニング・ポイント！



7月の都議選の結果、政権交代への流れに向かっていきます。最終的には、30日の総選挙により結果が出ますが、ここが日本のターニング・ポイントになるかもしれません。

すべては、歴史が教えてくれることでしょう。

こんな時だからこそ、未来を見極める必要があります。歴史の大きな流れが必ずどこかに潜んでいるはずだからです。ほんの少しの変化も見逃さないようにしましょう。

■【ビジネス・アイ】  
Twitter（その1）

社長 「まだまだうちみたいな中小企業の売上までは良くならないね。それはそうとなんか明るい話題はないかな」

花野 「明るい話題というわけではありませんが、最近インターネットではやっているものがあるんです。もしかしたら、将来ブログを超えるかもしれないんです」

社長 「そもそもブログからしてよく分かってないんだけど、話の種に、そのはやっているというヤツを教えてよ」

花野 「私も最近やり始めたばかりなんですけど、Twitter（ツイッター）というものなんです。アメリカではすでに流行しているそうです」

社長 「その Twitter というのは、具体的にはどんなものなの」

花野 「ものすごく簡単にいうと、ネット上に140文字のつぶやきをアップして、見たい人が見るという仕組みです」

社長 「それだけなの？」

花野 「そうです。仕組みはものすごく簡単ですが、可能性は、限りなく大きいです。たとえば、オバマ大統領のつぶやきをリアルタイムで読むことができたりします」

社長 「オバマ大統領のつぶやきがきけてもなあ」

花野 「ビジネスへの利用は、模索が始まったところですが、いくつか既に可能性があります」

社長 「とりあえず、どんなのか見せてよ」

■【今月のキーワード】  
Twitter（ツイッター）

2006年3月にアメリカで、プログラマーなど3名が、お互いに今何をしているのか知らせるミニブログとして考えられたものが発展したものです。

その後、著名人が参加して話題になり、1月のハドソン川への旅客機不時着などを速報したことからアメリカで一大ブームになっています。同じ英語圏であるイギリスでも流行しています。

今後は、商業利用の方法が検討され、近く実例が出てくると思われます。

Twitter のサイトは <http://twitter.com/> です。

■【今月の1冊】  
『「売れる営業」のカバンの中身が見たい！』

吉見 範一 著  
大和出版  
¥1500

はじめてあった人を引きつけ、最低限のポイント分りやすく一瞬で理解してもらおう。そんな秘密のツールがいっぱいです。

いわれてみれば、その通りのコロブスの卵ですが、なかなか気付きません。本当は、ご紹介したくなかったのですが、お教えします。現在、この本をもとにツールを作成中です！



■【編集後記】

ブログが市民権を得てそれほどの期間が過ぎたわけではありませんが、Twitter の可能性はブログを超えるかもしれません。

ネットの技術は、相変わらずもの凄いスピードで進化してますね！！

『NEWS LETTER』 vol. 29（毎月1日発行）

●定価：2,400 円/年 ●発行日：2009.8.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>